



第160号

# まつの社協だより

令和4年1月発行

編集・発行  
社会福祉法人  
松野町社会福祉協議会  
〒798-2101  
北宇和郡松野町大字松丸1661-13  
TEL (0895) 42-0794  
FAX (0895) 20-5311



## 新年の御挨拶



松野町社会福祉協議会  
会長 中森 京司



新年あけましておめでとうございます。  
皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。  
旧年中は本会の事業に対し、多大なるご支援ご協力を賜わり年頭にあたり心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症により、わたしたちはこれまでに経験したことのない状況下にいます。感染状況は比較的落ち着きをみせていますが、なお予断を許さない状況は続いていくと考えられます。

そんなコロナ禍においても、「こんな時だからこそ」とつながりや新しい試みを大切に、コロナと向き合いながらも、徐々に日常生活を取り戻していく事が重要です。

平成29年度から5年計画でスタートした第1期松野町地域福祉活動計画が期間満了となり、第2期松野町地域福祉活動計画が策定されます。当協議会としても、これまで地域のみなさんや関係団体の方々と一緒に考え、実践してきた地域活動を通じて得た経験・知識を生かし、「誰もが安心して、自分らしく生活できる福祉のまちづくり」を目指して、役員一丸となって取り組んでまいります。

町民の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とお力添えを賜りますようお願いを申し上げますとともに、皆様方のご健勝・ご多幸を心からご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

令和4年元旦



※門松：森の国クワ\*松丸製作



## ケアマネだより 温活ケア のススメ

寒さが厳しい季節になりました。若いころは何ともなかったのに、この頃は寒さが身に染みてねえ...というお話をよく伺います。  
体温が1℃下がると血行が悪くなり、免疫力や代謝が下がると言われています。「冷え」が強くなるとしびれを伴うこともあり、転倒リスクも高くなります。

### 簡単にできる「温活」



- 足元や首元、手首足首を温める。暖かい肌着等を重ね着する。
- ぬるめのお風呂にゆっくり入りリラックス(血圧にご注意を)。
- 軽い運動で血行を良くする。
- 体温より冷たい食べ物、飲み物は避け、たんぱく質を十分に摂る。

毎日、無理なく、気軽に「温活ケア」を続けましょう。



## 愛媛県老人クラブスポーツ大会 ～ 愛媛県総合運動公園 10/29(金) ～

前年度と同じく新型コロナウイルス対策のため短縮されたものとなりましたが、今年度も開催することができ会員同士交流を深めました。

開会式では大会長として鶴本会長の挨拶から始まった今大会。好天に恵まれ、会場内は興奮と熱気で大盛り上がり。松野町からは、松野(ゲートボール)、吉野シルバー長生会(クロッケー)が参加し、それぞれの種目で白熱した試合をくりひろげてきました。



## 松野町社会福祉協議会職員募集のお知らせ

- 募集期間 令和4年1月31日(月)必着
- 募集人員 正規職員(常勤、総合職)・若干名
- 採用日 令和4年4月1日
- 勤務地 松野町大字松丸1661-13

Uターン、Iターン歓迎

※詳細は、ホームページをご覧ください。  
お問い合わせ先 ☎ (0895) 42-0794 松野町社会福祉協議会 (担当：太場、影浦)

# ボランティア活動紹介

## 子ども達の安全のために

松野町福祉ボランティアグループと松野町日赤奉仕団の皆さんが、通学路の清掃活動を行いました。



通学路には落ち葉やどんぐりがたくさん落ちており、滑りやすくなっていました。ボランティアさんは、「みんな元気に安全に学校に通ってほしいね」と話しながら、落ち葉を掃き集めていました。通学路がきれいになり、気持ちもスッキリな活動になりました。



## 子ども達の笑顔のために

折り紙ボランティアの皆さんが、虹の森まつ保育園の年長組さんと一緒に、サンタクロースのリース作りを行いました。

子ども達のキラキラした瞳で興味を示して一生懸命折り紙に挑戦する姿、「また来てね～」の言葉に、ボランティアさんも最高の笑顔でした。



## ボランティア募集中 ～一緒にボランティア活動してみませんか～

松野町では、『福祉ボランティアグループ』と『日赤奉仕団』のボランティアグループがあります。

町内の清掃活動や、子ども達への読み聞かせ、地域の高齢者支援、世代間交流の活動など、自分の趣味や特技を活かした活動を通して、自分が楽しみながら、地域のみんなに楽しみと笑顔を広げています。

「おもしろそう」と思った方は、松野町社協までご連絡ください。 ☎ 42-0794

# 楽しみづくり 役割づくり

## 地区福祉活動計画推進会

福祉活

「いまある支え合いを大切に 自分たちでまちづくり」を合い言葉に、幸せに暮らせる地域を目指して、住民の皆さんと一緒に10地区ごとに活動計画を策定し、5年間活動してきました。

今年度の推進会では、今までの活動を振り返り、これからの地区のことを考えました。推進員さんからは、「はじめは自分の楽しみで活動していたが、いつの間にか地域のことを考えるようになった」という意見がありました。地区でどんな想いを大切にしながら活動していくのか、みんなで共通意識を持ちながら、2期目の計画を策定しました。



アドバイザーの  
山梨県立大学  
高木寛之先生

